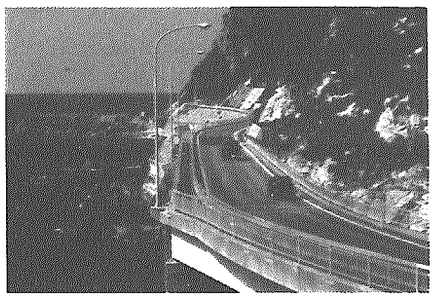
新プロジェクトに着手

昭和43年（一九六八年）
2月●二代目村長に横山喜八郎氏就任
9月●天神山城址、棒遣いなど3件を初の村文化財に指定
昭和44年（一九六九年）
1月●実行目標を制定「時間を守ろう」
昭和45年（一九七〇年）
10月●老人憩の家「静閑荘」オープン
●国勢調査で人口九千二十四人に（前回より五百十三人減）
昭和46年（一九七一年）
4月●公民館の公営結婚式スタート
8月●越後七浦観音開眼
昭和47年（一九七二年）
4月●村の木に〝月桂樹〟決まる（公募）
昭和48年（一九七三年）
7月●青年県外研修派遣事業スタート
昭和49年（一九七四年）
3月●「岩室村史」を発刊
7月●中央保育園の建設始まる
昭和50年（一九七五年）
7月●三代目村長に金子誠一氏就任
●越後七浦シーサイドライン全線開通
10月●国勢調査で人口八千九百五十三人に（前回より七十一人減）
昭和51年（一九七六年）
3月●自然休養村管理センターオープン
5月●和納三田団地（現12区）分譲開始
昭和52年（一九七七年）
7月●岩中グラウンドにナイター施設完成
昭和53年（一九七八年）
1月●岩室村民憲章制定
昭和54年（一九七九年）

50 45

◀「いっぱい、とれたよ」と大好評の自然休養村、掘りとりもぎとり園

▲自然がいっぱい…村民歩け歩け大会



▶海岸無雪道路計画により、昭和50年全線開通した県営有料道路「越後七浦シーサイドライン」

合併25周年記念事業

これからも…楽しい催しがいっぱいです

●村民歩け歩け大会

新村誕生25周年を記念して、十月六日に丸小山広場、林道岩室金池線をメインに午前九時四十五分から行われます。さわやかな秋の林道コースを完歩した後は、豚汁のサービスや歌謡ショー（しばざき愛さんほか）、カラオケ大会に抽選会（賞品いっぱい）など楽しい催しもいっぱいです。

●村民体育祭

十月十日を中心に二十七日まで、村民野球場、村民体育館をメイン会場に行われます。子どもからお年寄りまで幅広く参加できるスポーツの祭典です。

●チビッ子運動会

十月十日（体育の日）に村内4保育園で一斉に運動会が行われます。チビッ子らによるかわいい踊りにユニークな競技――お父さん、お母さんをはじめ多くのみなさんから晴れ姿を見てもらおうと、今から子どもたちも大はりきりで練習しています。ご家族全員でおいでください。

また、今年は記念事業の一環として子どもたちにカラーボールのプレゼントもあります。

●農業祭・村民文化祭

十一月二日～三日に、村民体育館、公民館で行われます。

今年は記念事業として、この二つの事業をタイアップさせました。農業祭（三日）では、新鮮な〝秋の味覚〟を格安のお値だんでみなさんのお手元へ。また会場では、コシヒカリのおにぎり、綿あめ、牛乳の無料配布などもあります。

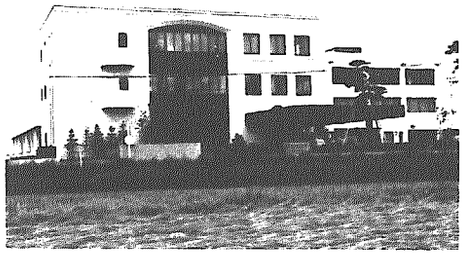
そして村民文化祭（二日～三日）。村内の愛好者によるすばらしい作品展です。あわせてどうぞ。

●生涯教育推進大会

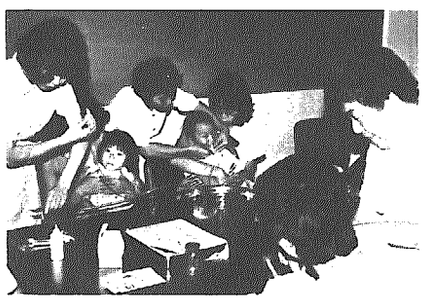
十一月十七日、公民館で行われます。これからの生涯教育について話し合ってください。また記念講演も計画されています。

4月●和納三田団地に第二保育園新築
8月●間瀬崖松キャンプ場オープン
昭和55年（一九八〇年）
1月●岩室村公民館、西中に移転新築
10月●国勢調査で村の人口九千三百六十人に（前回より四百七人増）
昭和56年（一九八一年）
4月●村民体育館完成
昭和57年（一九八二年）
5月●丸小山野外緑地広場オープン
昭和58年（一九八三年）
8月●役場新庁舎、保健センター、消防庁舎の三庁舎が完成
昭和59年（一九八四年）
8月●間瀬支所（昭和九年建設）姿を消す
昭和60年（一九八五年）
3月●間瀬地区公民館完成
7月●夏井浄水場完成
●消防防災無線通信施設事業スタート

60 55



▶岩室村のシンボル新庁舎完成



◀役場庁舎と併設した保健センター。乳児検診、一歳六か月検診など地域保健衛生の活動拠点――

何もかも一からのスタート……

初代村長
佐藤賢之輔さん
（岩室・76歳）

「合併当時は、何もかも一からのスタートだった。そりゃもう、苦労、苦労の連続だったよ。財政的に緊迫していたからね」と当時を語る佐藤さん。村の最高責任者としての重責感が伝わってくる。三十六年に新村建設計画を発表、生活基盤整備を中心に、合併によるメリットを生かし、デメリットの解消に本腰を入れて取り組んだ。上水道の整備、観光事業の振興、朝日橋の建建、岩室地内の県道の舗装化など……金がないのにひとおりのことをしなければならない厳しさがあった、という。現在の岩室村の基礎づくりに献身的に尽された佐藤さん。それを取材の中でひしひしと感じた…。

岩室村のこれから

岩室村はこの二十五年間、合併によるメリットを生かしながら、公共施設の充実を図り、新しい時代に適応した村づくりの基礎固めを行ってきました。

そして今、国の大震火災施設整備事業の補助を受け、全村をカバーできる消防防災無線通信施設の整備が行われており、来年一月一日の運用開始を目指して、各地で施設工事が進められています。

今春オープンした間瀬地区公民館は、これからの地域社会のコミュニティ活動、生涯教育の推進拠点としてその機能発揮の場として大いに期待されています。

また、第二次水道拡張事業として新浄水場が完成、おいしい水を安定して供給できるサービス体制を整えました。

そして、子どもたちの教育環境を整備するため、六十一年度には和納保育園の新築を目指す一方、合併三十周年を迎える昭和六十五年までには、老朽化している小学校の新築を進める計画です。

このように、これからの岩室村の未来は明るい材料が多く、ますます発展するものと思います。村民のみなさんの英知と情熱を結集して、豊かな自然と温かい人の心にあふれた村づくりをしていこうではありませんか。